

授業科目	CE1C11	2単位	必修	講義	1年前期	担当教員	教授 松浦 信二						
	保育原理												
授業の概要	① 保育とは何かについて学び、幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の基本を理解する。 ② 世界の保育の歴史や日本の保育の歴史について学び、保育制度の現状、保育のねらいと内容、保育の方法について理解する。 ③ 養護と教育の一体性、保育の内容について学び、小学校への連携、家庭及び地域社会との連携について理解する。 ④ 短期・長期の計画立案の意義について学び、保育の計画の種類と留意事項、保育の記録・評価について理解する。 ⑤ 保護者・家庭・地域と連携した子育て支援について学び、保育者の専門性、日本の保育の現状と課題について理解する。												
到達目標					学習成果Ⅰ			学習成果Ⅱ			学習成果Ⅲ		
					①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
1.生涯学び続ける存在としての人間、子どもという存在、権利の主体としての子ども、保育とは何かについて理解する。							◎	○	○			◎	
2. 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の基本を理解する						○	◎	○	○	◎		◎	
3. 世界の保育の歴史、日本の保育の歴史として戦前の保育と戦後の保育、保育制度の現状について理解する。							○				◎		
4. 保育のねらいと内容、子どもの主体的な活動のための保育の方法、生活や遊びを通した総合的な保育、環境を通した保育について理解する。						○		○	○	◎	○	◎	
5. 保護者・家庭・地域と連携した子育て支援、保育者の専門性、日本の保育の現状と課題について理解する。							○			○	○		
凡例 ◎：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために特に重要な目標、○：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために重要な目標 査定項目①～⑨はivページ参照													
	主 題	準備学習			本時の学習内容と到達目標						復 習		
1	オリエンテーション 第1章「保育とは」	シラバスの確認をする。 教科書 P11～P23 までを読み、第1章の概要を理解しておく。			生涯学び続ける存在としての人間、子どもという存在、権利の主体としての子どもについて学び、幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の基本を理解する。						章末「学びの確認」に取り組み、学んだことを整理する。		
2	第2章「世界の保育思想と歴史」	教科書 P24～P37 を読み、第2章の概要を理解しておく。			集団保育、施設誕生の背景、子ども中心の保育観について学び、オーエンの幼児学校、フレーベルの幼稚園について理解する。						章末「学びの確認」に取り組み、学んだことを整理する。		
3	第3章「日本の保育思想と歴史」	教科書 P38～P50 を読み、第3章の概要を理解しておく。			明治・大正・昭和前期の幼稚園・託児所の誕生、戦前の保育内容と保育思想について学び、戦後の保育内容と保育思想について理解する。						章末「学びの確認」に取り組み、学んだことを整理する。		
4	第4章「保育制度の現状 多様な幼児教育・保育の場」	教科書 P51～P65 を読み、第4章の概要を理解しておく。			子ども・子育て支援新制度について学び、保育所、幼稚園、認定こども園、地域型保育事業、地域子ども・子育て支援事業について理解する。						章末「学びの確認」に取り組み、学んだことを整理する。		
5	第5章「保育における子ども理解 発達の視点から」	教科書 P66～P77 を読み、第5章の概要を理解しておく。			子ども理解からはじまる保育、エリクソンの発達段階説、乳幼児期の発達課題について学び、発達の個人差、子どもの多様性について理解する。						章末「学びの確認」に取り組み、学んだことを整理する。		
6	第6章「保育のねらいと内容」	教科書 P78～P94 を読み、第6章の概要を理解しておく。			養護と教育の一体性、保育の内容について学び、保育全般に関わる配慮事項、小学校への連携、家庭及び地域社会との連携について理解する。						章末「学びの確認」に取り組み、学んだことを整理する。		

7	第7章「保育の方法 子どもの主体的な活動 のために」	教科書 P95～P108 を読み、 第7章の概要を理解してお く。	子どもの主体性・自発性の尊重、生活や遊びを通 した総合的な保育について学び、意図的な営みと しての保育、環境を通した保育について理解す る。	章末「学びの確認」に取り組 み、学んだことを整理する。
8	第8章「保育の計画」	教科書 P109～P121 を読 み、第8章の概要を理解し ておく。	短期・長期の計画立案の意義について学び、保育 の計画の種類と留意事項、保育の記録・評価とカリ キュラム・マネジメントについて理解する。	章末「学びの確認」に取り組 み、学んだことを整理する。
9	第9章「保育におけるさ まざまな配慮」	教科書 P122～P132 を読 み、第9章の概要を理解し ておく。	子どもの健康・安全への配慮、食育の推進と食物 アレルギーへの対応について学び、さまざまな配 慮を必要とする子どもと保護者への対応について 理解する。	章末「学びの確認」に取り組 み、学んだことを整理する。
10	第10章「保護者・家 庭・地域と連携した子 育て支援」	教科書 P133～P144 を読み、 第10章の概要を理解してお く。	子育てをめぐる問題とその背景、子育て支援の展 開について学び、保育所・幼稚園・認定こども園 における子育て支援について理解する。	章末「学びの確認」に取り組 み、学んだことを整理する。
11	第11章「保育者の専門 性」	教科書 P145～P159 を読み、 第11章の概要を理解してお く。	保育者の専門性の位置づけ、保育者の専門性の成 長プロセスについて学び、保育の質と専門性につ いて理解する。	章末「学びの確認」に取り組 み、学んだことを整理する。
12	第12章「世界における 保育・幼児教育 現状 と課題」	教科書 P160～P164 を読み、 第12章の概要を理解してお く。	教育・経済・社会の3側面から考える保育・幼児 教育について学び、幼保一体化、幼小接続に関す る諸外国の取り組みについて理解する。	章末「学びの確認」に取り組 み、学んだことを整理する。
13	第12章「世界における 保育・幼児教育 現状 と課題」	教科書 P165～P174 を読み、 第13章の概要を理解してお く。	諸外国の保育に関する実践や制度について学び、 諸外国の教育が創始した特色ある保育・幼児教育 について理解する。	章末「学びの確認」に取り組 み、学んだことを整理する。
14	第13章「日本の保育 現状と課題」	教科書 P175～P185 を読み、 第14章の概要を理解してお く。	地域社会の変容と子育てについて学び、グローバ ル化の中の保育、情報化と保育・子育てについて 理解する。	章末「学びの確認」に取り組 み、学んだことを整理する。
15	授業の整理・まとめ	授業の振り返りをしてお く。	授業の到達目標について確認しながら、授業の整 理・まとめを行う。	授業の到達目標について理解で きているか確認する。
成績 評価	授業への取り組み (20%) 課題等の提出 (20%) 期末試験 (60%) 合計 100%			
教員 から の コ メ ン ト	保育とは何かについて学び、幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の基本を理解することによつて、エビデンスに基づく専門的な保育実践のできる保育者になってもらいたい。子どもの主体性・自発性の尊重、生活や遊びを通した総合的な保育について学び、意図的な営みとしての保育、環境を通した保育について理解してもらいたい。また、世界の保育の歴史や日本の保育の歴史について学び、保育制度の現状、保育のねらいと内容、保育の方法について理解することによって、保育に関する専門的な知識を得てもらいたい。			
教科 書	書 名 ともに生きる 保育原理 著 者 田岡 由美子 発行所 株式会社 みらい		推薦 図書	書 名 実践を創造する 保育原理 著 者 豊田 和子 発行所 株式会社 みらい